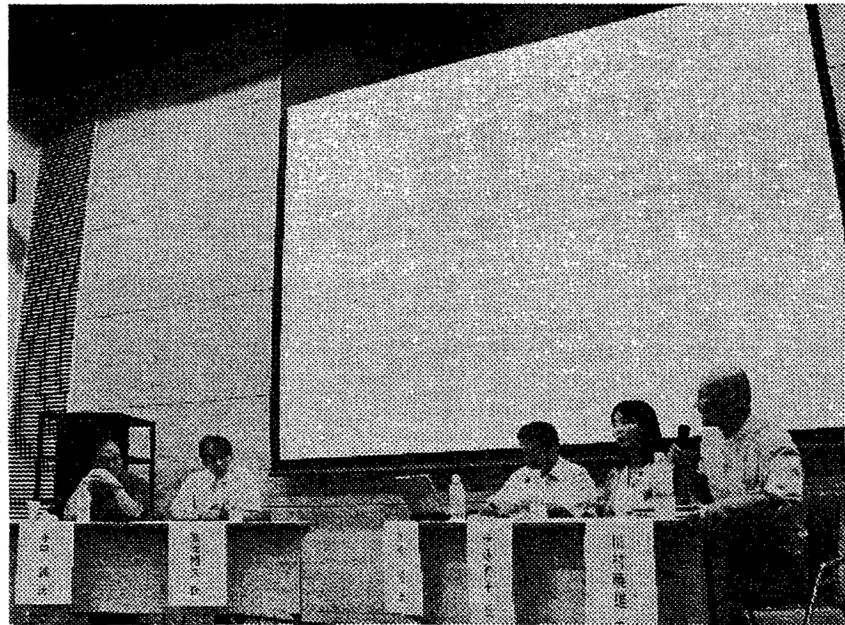


足元を見つめ世界に取り組む

■国際人権NGO「ヒューマンライツ・ナウ」発足



↑国境を越えた人権活動の未来について語った。

代表するNGOの担い手たちが「国境を越えた人権活動の未来」について語った。ファシリテーター（議論の促進役）は神戸女学院大学助教授の川村暁雄さんが努めた。

伊藤さんは「武力によらない方法で人権侵害を解決していきたい」と抱負を語った。寺中さんは、NGOは国境を越えた存在だとした上で、「人権NGOには国境がある。ヒューマンライツ・ナウは日本のNGOとして『日本はどうなんだ』と聞かれる。足元をきちんとすることが大事」と述べ、問題提起を含めてエールを送った。

ヒューマンライツ・ナウの連絡先は☎03(3835)2110、URL: <http://www.wngo-hin.org> 会費・募金振込先は郵便振替00120121705859、口座名称「ヒューマンライツ・ナウ」まで。

主にアジア地域での人権活動を行なうため、国内の法律家や研究者らを中心とするNGO（非政府組織）「ヒューマンライツ・ナウ」が7月28日に旗揚げされ、都内で設立記念講演会が開かれた。NGO関係者など約200人が参加した。

講演会では、神奈川大学大学院教授の阿部浩己さんが「国際人権活動の今日的課

題」を、「難民を助ける会」前事務局長の長有紀枝さんが「人間の安全保障とNGOの役割」をテーマに講演。その後のシンポジウムでは、ヒューマンライツ・ナウ代表に就任した伊藤和子さんと日本国際ボランティアセンターの熊岡路矢さん、アムネスティ・インターナショナル日本支部の寺中誠さん、ピースボートの川崎哲さんといった日本を